

SLと笑顔に会える富士連区



29. 1. 1 富士連区地域づくり協議会だより 第11号

富士連区地域づくり協議会（富士公民館内 TEL. 24-5125）

ホームページ http://www.orihime.ne.jp/~fuzi_138/



連区運動会 盛大に開催

みんな～頑張れ～！

第52回富士連区運動会が、10月2日富士小学校にて盛大に開催された。

幼児からシルバーまで約2500名が集い、20の競技に挑戦。昼休みには富士小金管バンド・カラーガードの演奏が花を添えた。

よちよち歩きで「菓子取り競争」、ふらふらになって懸命につないだ「天国と地獄」。

126名が挑戦した「一発逆転ホールインワン」では4名の方が10m先に見事ホールイン



スタートを待つ



綱引きで頑張る
4～6年生

ワン達成で賞品ゲット。

少年少女混合リレーでは、あちらこちらでカメラ、ビデオの撮影に熱中する親御さんでいっぱい。

ブロック対抗では各種目で高得点を挙げた「12ブロック赤：赤見・朝日」が見事栄えある優勝。“おめでとう”ございます。

選手の皆さん、係員のみなさんお疲れ様でした。

初めての富士連区防災訓練

10月30日、晴天のもと富士小学校で防災訓練を実施。富士連区単独では初めての取り組みで、300人を超える地域の人たちが参加。

訓練の目的は次の2点。

- ◆大規模災害に備える。
 - ◆防火、防災に対する認識を深める。
- 一宮消防署など各機関の協力のもと、6つの



応急担架を作る



胸骨圧迫
(心臓マッサージ)

グループに分かれ実地に訓練。

消火器の取扱い、避難訓練、AEDの取扱い、応急担架づくり、避難所資機材見学、炊き出し訓練など、たくさん学びました。

普段の心構えが大切であることを実感する充実の2時間でした。

特集 地域づくり協議会の「これまで」と「これから」

「富士連区地域づくり協議会」がスタートして2年が過ぎようとしています。役員としての「これまで」を振り返り、「これから」の協議会のあり方について意見交換を行いました。



《参加役員》

遠藤 慧(石野町5)・近藤重幸(石野町3)・二俣勝美(浜町5.6藤塚町3.4)・高木正巳(朝日通2) 岸 達也(赤見1.2)・浜崎雄一(花祇通4)・飯田時雄(花岡町1.2)・高橋良和

①役員としてのこれまでの活動を振り返って思うことは…

- ◆新しいことを始めることは難しかった。まずは、小さなことに目を向けるとよかった。
- ◆連区の状況を十分考慮しての予算配分ができなかったので、改善したい。
- ◆苦言、問題提起に心がけてきた。まずは一歩前進できたと思う。
- ◆組織を十分に機能させることができなかった。
- ◆地域づくり協議会の意義を浸透させることができなかった。



②今、富士連区がかわりつつあると感じることは…

- ◆新しい風が吹き始めている。防災訓練、赤十字奉仕団、カフェサロン、スマホ学習会、SLイベント、など。
- ◆みんなが集まる機会が増え、新しい活動を始めようという機運が高まりつつある。
- ◆WEB活用で若手の関心が高まる気配を感じる。

- ◆行事への参加者が増えつつあり、マンネリ化の解消も少しずつ進んでいる。

③協議会は今後どのように活動を進めていくとよいか…

- ◆組織がだれにもわかりやすくなるとよい。
- ◆各団体が活動しやすい環境づくりが大切。
- ◆各団体がどんなことに取り組んでいるのか。成果は何か、問題点は何かについての情報交換が必要。
- ◆全体会をもっと開くとよい。
- ◆他連区との情報交換、専門組織から学ぶ機会を持つとよい。
- ◆各団体の「副会長」のあり方が重要。責任と権限のある位置づけにすべきである。



④協議会の認知度を上げるには…

- ◆地域の活性化が進めば認知度は自然に上がる。
- ◆地道に努力を続けることが大切。
- ◆掲示による広報活動をもっと取り入れるとよい。